基本施策 1

なりわい

豊かな産業と新たな交流が生まれる村

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

8 働きがいも経済成長も

9 産業と技術革新の基盤をつくろう

15 陸の豊かさも守ろう

1　なりわい

基本施策１　豊かな産業と新たな交流が生まれる村

施策分野(1)　農業

基本計画１-(1)　持続可能で稼げる農畜産業の実現

村にある未利用資源（牧草、稲わら、農業施設等）を有効に活用することが、循環型農業にも、地域経済の発展にもつながります。稼げる農畜産物を見極め、所得向上や生産量拡大につなげるとともに、後継者や新しい担い手育成などを進めます。

現状・課題

- 農家の大規模化等が進むものの、農業再開面積は全体の３割に留まっており、農畜産業の生産基盤が十分ではありません。
- 高齢化等により、地域の農畜産業を支える人材が不足しており、後継者や新たな担い手の確保が進んでいない状況です。
- 震災前の飯舘牛のような村ならではの農畜産業のブランド化が十分に進んでいないため、稼げる農畜産業の実現が課題です。
- 耕作放棄地が多く存在し、活用されていない土地の利活用が課題です。
- 電気牧柵やワイヤーメッシュ柵、駆除プロジェクトチームなど、さまざまな有害鳥獣対策を講じているものの、依然として農作物への被害が多くなっています。
- ゼロカーボンビレッジいいたての推進に向け、各分野が連携した取組を行うことが課題です。

村の主な取組

①　農畜産業の生産基盤の強化

〈主な取組例〉

- 農畜産業従事者の経営安定化や規模拡大を推進するとともに、栽培や経営に関する技術支援を行います
- 国・県等の各種支援制度等を活用し、持続可能な農業と地域の景観・環境保全を図ります

②　後継者・担い手の育成・確保

〈主な取組例〉

- 農畜産業の組織化や大規模化に伴い、地域内外からの担い手の確保と育成を推進します
- 農業研修施設「きらり」を活用し、農畜産業の再開や新規参入を支援するとともに、担い手を確保するための情報発信を推進します
- ライフスタイルの多様化を踏まえ、農業における多様な働き方（短時間勤務、週末だけの就労、リモートワークなど）の導入を検討し、新しい担い手の確保に努めます

③　農畜産物の高付加価値化による所得の向上

〈主な取組例〉

- 稼げる農畜産業を目指し、安全・健康志向など幅広い消費者のニーズに対応した農畜産物の生産・流通・販売戦略を検討します
- 飯舘村産の牛肉である「飯舘牛」、震災後から新たに作付けがはじまった「あぶくまもち」※をはじめとした飯舘村産品の付加価値を高め、販路拡大を通じて産業の多角化を進めるとともに、積極的な PR や情報発信に努めます

※あぶくまもち：福島県が高冷地向けに開発したもち米。村で開発に協力した経緯などから、栽培拡大に取り組んでいる。

④　農地の適正管理と多様な利活用の推進

〈主な取組例〉

- 村内の農地の適切な管理や利用を促進し、所有者自らの主体的な維持管理を基本に、地域全体で農地の利活用を進めます
- 既にある耕作放棄地は、耕作再開を基本としつつも、農地としての利用が難しい場合は、生物多様性の保全や景観形成、水源涵養など環境保全的な観点からの活用を図ります
- 有害鳥獣により農作物や生活環境への影響を最小限とするため、地域や村民と協力して有害鳥獣対策をさらに推進します

⑤　ゼロカーボンと生産性向上の両立

〈主な取組例〉

- 耕畜連携の仕組みづくりを支援し、地域資源を有効活用した循環型農業を推進します
- 脱炭素社会の実現に向け、木質バイオマス発電の熱利用や太陽光などの地域資源を活用した資源エネルギーの利活用や、環境負荷の低減に配慮した農業の推進を検討します
- 生産性の向上を目的として、スマート農業などの新技術の導入による農業 DX を検討します

関連計画

- 飯舘村鳥獣被害防止計画
- 飯舘農業振興地域整備計画
- 地域計画（農業経営基盤強化促進法第 19 条に基づく）
- 飯舘村農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想
- 飯舘村農業委員会農地等の利用の最適化の推進に関する指針
- 山村振興計画

みんなで
取り組んで
みよう！

- 村の牛肉や野菜を買って食卓に取り入れましょう
- 家族や地域で協力して、農地を守りましょう
- 村で農作物を作って、家族みんなで味わいましょう
- スマート農業など新たな技術を取り入れてみましょう
- 新規就農者に農地などを活用してもらうことを選択肢の一つとして考えてみましょう

施策分野(2)　林業

基本計画１-(2)　豊かな森を未来へつなぐ林業の実現

放射性物質対策を含めた森林再生事業等を着実に進めることにより、森林の多面的機能を回復させるとともに、重労働というイメージがある職場を魅力的なものとし、担い手確保につなげます。また、地域の森林資源を無駄なく活用し、林産物の出荷制限解除等に向けた検討を進めます。

現状・課題

- 適切な森林の整備・管理や放射性物質対策が十分でないため、森林の多様な機能を将来にわたって保全・継承することが課題です。
- 後継者や担い手が不足する中、担い手の確保に向けた里山や林業の魅力発信が十分ではありません。
- 木質バイオマス発電の稼働により、木質資源の活用は進みつつあるものの、環境と共生する林業の推進が課題です。

村の主な取組

① 森林整備・管理の推進

〈主な取組例〉

- 放射性物質対策を含めたふくしま森林再生事業等を着実に進めることにより、森林の多面的機能の回復を進めます
- 生物多様性に配慮しながら、飯舘村森林組合など各種団体と連携し計画的な森林の整備と適切な管理を推進します

② 林業に関する学習機会の充実

〈主な取組例〉

- 幅広い世代を対象とした環境学習機会を充実させ、森林や林業への関心を高め、将来の担い手を確保します
- 研修や就業支援を通じて、実際に林業に関わる人材の確保・育成を着実に進めます

③ 環境との共生する林業の推進

〈主な取組例〉

- 木質バイオマス発電施設を活用し、森林資源を有効に利用するとともに、発電時に生じる排熱の活用を進めることで、森林資源の循環利用を一層推進します
- 木材利用など、豊かな森林資源を暮らしや活動に取り入れやすくします

関連計画

- 飯舘村森林整備計画
- ふくしま森林再生事業全体計画
- ふくしま森林再生事業年度別事業実施計画
- 山村振興計画（再掲）
- 農山漁村再生可能エネルギー法に基づく基本計画

- 地域の里山を守るため、下草刈りなどを行いましょう
- 木材を使った製品を日常に取り入れてみましょう
- 散策などで村の森林を身近に感じましょう

施策分野(3)　商工業

基本計画１-(3)　働きがいとやりがいのある商工業の振興

村に根ざした安定的な雇用を守り育てることは、将来に希望を持って暮らしていける環境づくりにもつながります。引き続き新たな産業の創出を進めるとともに、既存企業の成長の可能性や個人のやりがいを見つけ、誇りを持って挑戦できる環境づくりを進めます。

現状・課題

- スポーツ用品関連会社、商業施設など、村内への企業立地や創業の動きはあるものの、企業誘致や起業・創業支援による雇用創出が課題です。
- 働く側の価値観が多様化する中で、優秀な人材が持続的に働く場づくりや、働きがい・やりがいのある職場環境の整備が課題です。
- 商工業の活性化につながる活動は進んでいる一方で、地域全体のにぎわいや連携の強化に向けた取組の広がりが十分ではありません。

村の主な取組

①　企業誘致等による新たな産業の創出

〈主な取組例〉

- 村内での事業活動の発展を図るため、既存企業の取組を支援するとともに、事業再開や創業を支援します
- 産業団地の整備を進めるとともに、企業誘致など、村内での雇用の創出を促進します
- 持続可能で効率的な地域社会に向け、デジタル技術を活用した業務改革（DX）や脱炭素に向けた取組（GX）を支援します

- 飯舘村産品の６次産業化やブランド化、販路拡大を通じて産業の多角化を進めるとともに、積極的な PR や情報発信に努めます（再掲）
- 空き店舗等の活用を通じて、地域の新たな交流や活性化につながる取組を進めます

② 持続的に働く場づくりの促進

〈主な取組例〉

- 村内の企業等で勤務する人材が持続的に働けるよう、企業の働き方改革などを促します
- 地域内の雇用創出と人材確保を図るため、求職者と事業者のニーズに応じた就労支援やマッチングの取組を推進します
- 地域の課題解決や活性化につなげるため、フリーミッション型及び企業雇用型地域おこし協力隊の取組を推進します

③ 企業間交流と連携の強化

〈主な取組例〉

- 村全体のにぎわい創出や連携の強化に向け、情報交換など村内外の企業間交流と連携を強化するとともに、商工業の活性化につながる各種団体の活動を支援します
- 地域イベントや共同事業への企業の主体的な参画を促します

みんなで
取り組んで
みよう！

- 村内の道の駅やハシドラッグなどで買い物をしましょう
- 村の特産品を SNS や口コミで紹介して村の魅力を広めましょう
- 村にしかない・村でしかできないものづくりやサービスを考えましょう
- 村での起業を通じて、自分らしいビジネスに挑戦しましょう
- 村に関わる事業所等では、働き方改革や多様な働き方の尊重を進めましょう
- 村に関わる事業所等では、DX 推進に向けた基盤整備や人材育成に取り組みましょう

施策分野(4)　観光・交流

基本計画１-(4)　たくさんの人が集まり、ともに楽しめる環境づくり

村には、自然・歴史・文化・食などの資源が数多く存在しますが、その魅力や価値が広く知られていないものも少なくありません。村独自の資源を磨き上げ、村民と来訪者がともに楽しめる観光・交流を目指します。また、デジタル手法とアナログ手法の両面から情報を発信することで、村の魅力を多くの人に伝えます。

現状・課題

- 山津見神社、県の百名山である花塚山・野手上・虎捕山や星空など、村や資源の魅力を十分に発信できていないため、戦略的な情報発信や観光マネジメントの推進が課題です。
- いいたて村の道の駅「までい館」や村民の森あいの沢など、村内にある様々な資源や観光拠点の活用が不十分であり、宿泊体験館きこりなどはあるものの、大人数への対応など多様な宿泊ニーズに十分対応できていません。
- 村を案内するツアー等により村の知名度は少しずつ上っているものの、イベント等を通じた村内外の交流が継続的な取組となり、人口増加や地域活性化につなげることが課題です。

村の主な取組

① 戦略的な観光情報の発信

〈主な取組例〉

- 地域資源を最大限に活かした観光振興を図るため、戦略的な観光マネジメントにより村の賑わいづくりを推進します
- 東日本大震災の記憶と教訓を伝承し、防災・減災の意識を高めるとともに、復興の歩みや未来志向の村づくりを発信するホープツーリズム※を推進します
- 訪れる人のニーズに合った内容・手法により、観光情報を発信します

※ホープツーリズム：震災などの被災地を訪れることで現地の復興の状況や課題を学び、被災地の支援や地域活性化に参加する観光のこと。

② 魅力的な資源の有効活用

〈主な取組例〉

- 村の観光拠点の機能強化、既存資源の効果的な活用を推進します
- 大人数の来訪にも柔軟に対応できるよう、関係者との連携などにより受入体制づくりを進めます

③ 村内外の交流による人口の増加

〈主な取組例〉

- 村ならではの魅力を活かしたツアーやイベント等により、村内居住人口・関係人口・交流人口の増加を図り、地域活性化につなげます
- 協定大学の学生等と継続的に関わりを持ち、地域課題の解決や活力の創出につなげます

- 観光客や移住希望者に温かい声かけをして迎えましょう
- 村のお祭りやイベントなどに気軽に参加しましょう
- 村のおすすめのスポットをたくさんの人に紹介しましょう
- 村の地域資源を再発掘してよさを広めましょう